

チーム編成と出場大会に関する基準（2016年度版）

シニアカテゴリーにおいては、居住都道府県を越えて活動している競技者も多く存在し、地域によっては、都道府県を跨いだチーム編成及び大会出場をする場合があることから、競技者を個人単位で登録をします。また、複数チームに所属して大会出場をするケースも見られます。

シニアカテゴリーでは柔軟な活動を認めつつも、予選大会（シニアチャンピオンシップ）と上位大会（女子総合選手権・全日本選手権）においては、一定の基準の中で大会に出場していただく必要があるため、以下のとおりの基準を設けます。

なお、ふれあいの部・エンジョイの部はこの基準は適用しません。

1 上位大会エントリーとオープンエントリーについて

予選大会では『エントリー選択制』を採用し、上位大会進出を目指すための予選としての出場（上位大会エントリー）か入賞しても上位大会への上場資格のない参加（オープンエントリー）かを出場チームは選択します。

同一チームが各地域で行われる予選大会に複数回出場することは可能ですが、上位大会エントリーは2016年度中に1回のみとなります。

なお、居住地や活動地域に関係なく、どの地域で行われる予選大会でも出場することができます。上位大会への上場枠については、各予選大会によって異なる場合がありますので、大会要項等で必ず確認してください。

2 予選大会における同一チームの定義と重複登録について

① 同一チームの定義

『同一チーム』とは、次のいずれかを満たしたチームとします。

- ・チーム名が異なってもエントリーメンバーの過半数が重複している場合
- ・チーム名と代表者氏名が同じである場合
- ・その他、同一チームであると客観的に判断できた場合

万が一、同一チームが複数の予選大会に上位大会エントリーしてしまった場合は、当該予選大会のうち、最初に出場する予選大会に上位大会エントリーしているものと判断し、その後の大会出場はオープンエントリーのチームとして対応をします。後に発覚した場合でも、上記の基準を適用し、遡って出場資格の取り消し等ができるものとします。

なお、事前に主催（主管）から日本協会に提出するエントリー表を確認し、エントリーチームが上位大会エントリーかオープンエントリーか主催（主管）と事前に情報共有します。

② 重複登録について

選手が同一の大会で同一カテゴリーへの重複登録をすることはできません。

同一の予選会における複数カテゴリーへの重複出場につきましては、各地区の実情に合わせ、予選会ごとに定めることとなりました。

詳細は、各予選会の大会開催要項をご確認ください。

3 上位大会における重複登録について

上記2.②の取扱いと同様とします。

なお、複数チームで予選大会に出場した選手が、複数チームで上位大会への出場資格を有した場合、いずれか一つのチームを選択しなければならず、その他のチームについてはエントリー表から登録を削除しなければなりません。

4 予選大会と上位大会のエントリーメンバー変更について

入れ替えや追加は一切認めません。但し、予選大会におけるエントリーメンバーから登録を削除することは認められます。

また、選手兼任ではないチーム役員については、削除の他、入れ替えを認めますが、追加はできません。

5 予選大会と上位大会のエントリーメンバーの競技者登録と登録人数について

上位大会エントリーかオープンエントリーを問わず、各大会のエントリーの時点で競技者登録が必要です。

但し、2016年度に関しては、予選大会はエントリーメンバーのうち5名以上の競技者登録、上位大会はエントリーメンバー全員の競技者登録を必須とします。

上位大会に出場が決定したチームでエントリー表の登録削除をした選手は、上位大会で登録競技者になる必要はありません。一方、上位大会に出場が決定したチームでエントリー表に記載のある選手（大会プログラムに掲載される選手）は、当日に欠場をする場合においても競技者登録をされている必要があります。

6 予選大会における登録競技者以外の仮登録について

2015年度より、予選大会における選手の出場状況や重複登録等の情報をデータで管理します。

そのことから、予選大会においても全選手がJDBAメンバーサイトへの申請作業を行い、メンバーサイトに表示される会員番号をエントリー表に記載してください。

各チームで競技者登録を行っている選手は、既にJDBAメンバーサイトへの登録を完了しているため、メンバーサイトに表示される会員番号か個人会員証記載のIDをエントリー表に記載してください。

なお、JDBAメンバーサイトの申請自体に費用は発生しません。